

いのちの言の葉2015

富山県教育委員会平成27年度いのちの教育総合支援事業

「いのちって何？」（道徳）

黒部市立荻生小学校6年
平成27年7月2日実施

【いのちの先生】

水井 雅子先生
・助産師

【授業の概要】

- 1 助産師の仕事
- 2 命の始まり
- 3 胎児が成長する様子
- 4 保護者インタビュー(妊娠中・出産時のこと)
- 5 思春期の体と心の変化
- 6 自分自身の命や体の大切さ



（お母さんへ）

メッセージを書いてくれてありがとう。今までお母さんが書いてくれた手紙は全部とってあります。それにはお母さんの優しい言葉が書いてあって、読んでみるとお母さんは私のことをしっかり見てくれたんだと思います。私と〇〇が昔かいた絵や手紙を捨てずに引き出しに入れてあったことが嬉しかったです。ここに書いてあるように、これからも応援してください。

（保護者より）

最近よく〇〇が産まれた時のことや、保育所に通っていた小さな頃のことをよく思い出します。どんどん成長していつている姿に日々感動しています。これからも自分のやりたい事、夢をもって今までどおり前を向いて歩いていてください。命があれば何でも出来ます、自分と命を大切にしてください。家族みんなが〇〇の側について、これからも応援しますよ。

（お母さんへ）

僕が野球を始めてから、送り迎えや、汚れものの洗濯や、弁当を作ってくれてありがとう。おこられて言う事を聞かなかったときもあって、めいわくをかけてごめんなさい。これから言う事を聞くようにします。

感謝の気持ちをなかなかあらわせないで、野球でかつやくして感謝の気持ちをあらわしたいです。これからもよろしくお願ひいたします。

（保護者より）

平成〇年〇月〇日、君が生まれ、家族みんなが幸せにつつまれたよ。お父さんがつけてくれた名前のおおりに、いろんな世界に思いっきり羽ばたいて下さい。そして、疲れたとき、悩んだときは、いつでも戻っておいで。家族みんなで抱きしめてあげるよ。でも小さな時から、思いっきり行動する〇〇は、いつもケガがたえなくて心配でした。いつでも羽ばたけるように、体だけは大事にしてね。

おなかのなかにいるときから、とても元気にうごいていた〇〇ちゃん。

手をのぼしたり、足をのぼしたりするたび、とても幸せな気持ちになりました。

2日かかって、手術でうまれて、泣き声を聞いたとき、本当に安心しました。うれしくてなみだがあふれました。うまれてきてくれてありがとう。〇〇がうまれて、家族がみんな幸せな気持ちになったよ。